

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)エスリード吹田市昭和町新築	階数	地上6階、地下0階
建設地	大阪府吹田市昭和町	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	132 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年6月17日
敷地面積	1,448 m ²	作成者	株式会社イサラ・デザイン 佐藤博
建築面積	705 m ²	確認日	2024年6月19日
延床面積	3,277 m ²	確認者	株式会社イサラ・デザイン 和田 典孝



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 85% (39 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 84% (39 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 84% (39 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

音環境	3.3
温熱環境	3.3
光・視環境	2.8
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	3.5
耐用性	3.1
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	2.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源	3.0
非再生材料の	2.5
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.6
地域環境	2.5
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	ZEH-Oriented基準を満たす共同住宅です。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	F☆☆☆☆を全面的に採用しています。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	給排水配管において更新必要間隔の長い配管を使用しています。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	特になし。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	再生可能エネルギーを導入しています。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	外壁に使用する断熱材において吹付ウレタンA種1Hを採用しています。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	外部に漏れる照明に点滅・移動・着色等をしません。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)エスリード吹田市昭和町新築工事					
建設地		大阪府吹田市昭和町					
用途/区分		集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆				B+	
①	CO2削減	★★★★☆				4	
②	みどり・ヒート アイランド対策	★★★☆☆				2	
③	断熱性能	★★★★★				5	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	1 2 3 4 5 6 7		5	
④	エネルギー消費性能	★★★★★				5	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	★★★★☆	3		評価対象外
⑤	自然エネルギー 直接利用	評価対象外				○	
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.6	4
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	-
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項							